

### 野洲川廃川敷地に関する元中主町長と吉川区における確約書について

辻 藤雄



**問** 昭和63年、3項目からなる確約書が交されているが、今なお履行されていない。この件について新市に引継ぎされているのか。

### 項目毎に対応

市長

**答** 1項目は、吉川工区、小浜工区の下流域域から順次地権者全員に仮配分され、平成16年北流全域が換地登記された。こうした状況の中で、平成元年1月14日付で吉川区長に1項目の履行については、元中主町長から履行されなかった事に対し陳謝されている。その代替案としての支援策が提示されている事項については、最大限努力を重ねてきた。

2項目の吉川下流域で県が所有する地域開発区域内で、中主町国土利用計画で湖国風景公園吉川緑地区域に指定され、



野洲川廃川敷の換地後

現在県事業として、工事が着手されている。3項目は、今年度をもって事業完成の運びとなり最終事業の幹線、支線農道舗装工事及排水路床打ち工事を現在実施している。

以上の確約内容で合併時の引継ぎしている。

### これでいいのか 過激な性教育

田中弘一



**問** 性教育は、慎重に行うべきで、基本的な考えを教えずに、性交の仕組みだけを低年齢の子ども達に教えれば、子ども的一生を台無しにする恐れがある。

また、多くの心理学者が有害であると警告しているが見解は。

小学校の図書館にある絵本「性についてはなそう」は、性交の仕組み・自慰・家庭のあり方など常識的でない内容であるが見解は。

最近の女の子は非常に乱暴になっているし、責任を引き受けない男の子

### 年間計画の基に 計画的系統的に実施

教育部次長

**答** 性教育、男女共同参画に関する教育は、学習指導要領に基づき実施している。いわゆるジェンダーフリー教育は行って

いない。子供達の現状は、全国的な統計であるが、中学生でも性交の体験、性感染症、妊娠等の現実があ

### その他の質問

○市三宅地先(剣先)の県有地の活用について



教育現場でのジェンダーフリー

女の子も男の子も無責任であったり、乱暴であったりすることはよくないことである。男女に拘わらず、責任を持つこと、礼節を保つことは大事なことであり、自己の克服、忍耐力は学校教育全般の中で実践している。

# アスベスト対策は

## 万全か

藤下茂昭

**問** ①石綿が使用されている市内の建造物に問題はないか。

③石綿を取り扱っていた市内の企業の実態と現状

②石綿による被害者（患者）への対策

④国や県との連絡調整

# 対策本部を設置

## 的確に対応する

### 環境経済部長

**答** ①8月に危機管理対策本部を設置。公共施設を点検した結果、石綿使用の疑いのある中主給食センター、中主B&G海洋センターは試験や封じ込め工事を終了した。アスベストの分析結果が判明次第他の建造物も含め対策を講ずる。

③関連の企業へは、県の立入調査に本市職員も同行し、調査を行った。同社は現在、石綿は取り扱っていない。県への報告では、過去の測定結果に問題点はなかったと説明を受けた。

④今後、県と連絡調整を図り情報収集に努める。

②石綿による被災者の実態は不明。本市では健康推進課が健康相談の窓口となり、草津保健所と連携をしながら対応している。現時点での相談はない。



B & G 海洋センター



## その他の質問

○学校給食センターの旧予定地の地権者への対応について

# 少子高齢化対策は

河野司

**問** わが国においては、平均寿命の伸び、少子化等を要因として、世界で例をみない速度で、急激に高齢化が進行しており、現在20%、出生率の

低下（現在1・29人）も進み、社会の営みの維持に向け抜本的な少子・高齢化対策を本市としても、独自に取り組まなければならない。

# 市サポートプランにより

## 取り組み

### 市民健康福祉部長

**答** 少子化対策では、子育てサポートプランに基づき鋭意取り組み、本市独自の乳幼児福祉医療の無料化、絵本の配布、新生児訪問、9月より一時保育、休日、夜間保育

を私立の認可保育所で開始、ファミリーサポートセンター事業も開始に向け準備中である。高齢化対策では、げんきカード交付事業、ふれあいサロン、生きがいづ

# 駅前周辺整備は

**問** JR琵琶湖線野洲駅は野洲発、野洲止め快速電車等の利便さにより、市内はもとより近隣市町の住民の、主要交通機関として利用乗降客数は増加の一途である。一刻も早く市の玄関口にふさわ

しい駅前にするべく、アサヒの団地を買収し、にぎわいのある整備を行い、同時に周辺の河川（増水）歩道（バリアフリー）交通（渋滞）等の環境整備を急がりたい。

しい駅前にするべく、アサヒの団地を買収し、にぎわいのある整備を行い、同時に周辺の河川（増水）歩道（バリアフリー）交通（渋滞）等の環境整備を急がりたい。



運動会風景

アサヒビール株との連携協議のうえ進める

### 都市建設部長

**答** 土地所有者のアサヒビール株と連携、協議の上今後の計画を進める。Dブロックは地元や商工会等の意向に沿い、Cブロック（市有地）と共に協議する。